

◆◆台場地区では10年間にこんなまちの変化がありました◆◆

10年前と現在のまちの違い

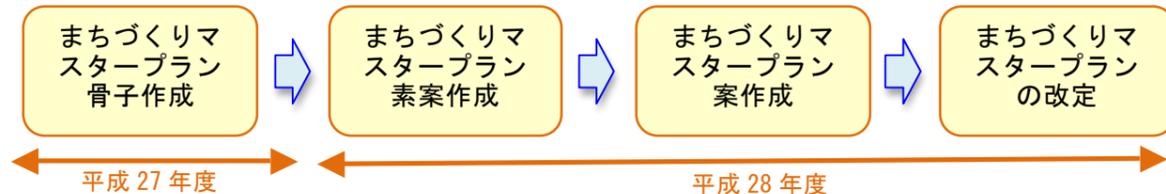
◆お台場レインボーバス(地域と事業者、区で構成する運営協議会において企画・運営、交通不便地域の解消)



お台場レインボーバス(出典:港区ホームページ)

◆◆まちづくりマスタープランの改定スケジュール◆◆

まちづくりマスタープランは以下のようなスケジュールで改定する予定です。



◆◆次回、第2回意見交換会は以下の日程で開催します◆◆

地区	日時	場所
芝地区	11/5 (木) 18:00~20:00	芝公園区民協働スペース (芝公園保育園内)
麻布地区	11/16 (月) 18:30~20:30	麻布区民協働スペース (麻布保育園内)
赤坂地区	11/9 (月) 18:30~20:30	赤坂区民センター
高輪地区	11/10 (火) 18:30~20:30	高輪区民センター
芝浦港南地区	11/12 (木) 18:30~20:30	芝浦区民協働スペース
台場地区	11/17 (火) 18:30~20:30	台場区民センター

まちづくりマスタープランや意見交換会について感想やご意見などお寄せください！
 また、意見交換会への参加者を引き続き募集していますので、ご希望の方はご連絡下さい。
 港区 街づくり支援部 都市計画課 街づくり計画担当
 TEL 03 (3578) 2235、FAX 03 (3578) 2239
 〒105-8511 東京都港区芝公園 1-5-25 (港区役所本庁舎 6 階)

港区まちづくりマスタープラン
意見交換会ニュース

台場地区
No.1
2015.9.17

台場地区での第1回意見交換会を開催しました

平成 27 年 9 月 17 日 (木) の 18 時 30 分から台場区民センターで、港区まちづくりマスタープランについての台場地区での第1回意見交換会を開催しました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

当日は「まちづくりマスタープランの概要 10 年前と現在のまちの違いについて」をスライドで紹介した後、「地区の魅力」や「地区の課題」について意見交換しました。

その結果を模造紙にまとめ、出されたご意見を確認してもらいました。出された意見の詳細は裏面をご覧ください。

話し合いは1時間程度でしたが、机上に地図を広げ、意見やアイデアを出し合っ、活気ある話し合いになりました。また、ほぼ時間通りに終了することができ、ご協力ありがとうございました。



まちづくりマスタープランとは

- おおむね 20 年後を目標とするまちの将来像やまちの基本的な方針などを示すものです。
- 区全体のまちの将来像と地区別の特徴に応じたまちづくりの方針で構成されています。
- 都市計画や建築、交通などのハード面に限らずバリアフリー、子育て、緑、環境、防災、防犯などのソフト面も含んだ計画です。

意見交換会とは

- 地区ごとに開催し、区民の皆さんからきめ細な地域の情報や実情などを伺い、その地区の課題や計画内容について話し合う会です。
- 各地区 3 回程度開催する予定で、1 回目は既に開催しました。2 回めの予定は最後のページに紹介しています。3 回めは 12 月中旬~1 月中旬の開催を予定しています。

様々なまちの魅力や課題が出されました

※意見交換会の内容を要約・整理して掲載しています。

台場地区について

【孤立している】

- ・台場地区は、小さい分、住民のまとまりは良いと思う。
- ・他の地区と異なり、海一つ隔たった小さなブロックなので、土地も担い手も限られており、思うようなプランが立てにくい場所である。
- ・計画を作っても、それを推進していく人員が集まらないのではないかと。
- ・住戸数が限られており、港区内全体に占める人口割合も少ない。地域の特性上、意見が反映されにくいのではないかと。
- ・港区としてのまとまりよりも、臨海エリアでのまとまりという意識が強い。
- ・行政区だけでなく、周辺区との連携が必要である。

生活利便性について

【各施設の充実】

- ・他の地区に比べて、病院が少ない。（耳鼻科は無い）大病院の支院をつくってほしい。
- ・休日診療をやっている病院が無い。
- ・台場地区は、新しくできた地区なので、ハコモノの過去のストックが無い。
- ・台場地区は、いきいきプラザが無い。区民センターにお世話になっているが、より充実した公共施設整備を望む。
- ・二つのホテルに立派なスポーツセンターがある。行政と民間の連携で住民が使いやすい施設にしてほしい。

【公共交通の充実】

- ・買い物などは豊洲に行くことが多い。台場地区に無い施設に行くための交通手段をもっと充実させて欲しい。

レインボーバスについて

【今後の展望】

- ・レインボーバスの今後の展望が気になる。
- ・レインボーバスができたことで、高齢者の行動範囲が広がった。バスの運転手さんも、都バスより親切である。
- ・【無くなるかもしれないので不安】
- ・現在レインボーバスは、民間事業者が5年の任期で運営を行っている。現在はその4年目である。現在の事業者が撤退してしまったら、レインボーバスは無くなってしまいかもれない。
- ・現在は赤字続きで、収支が60%である。事業者は億単位の赤字を抱えており、5年目が黒字であれば続けると言っているため、レインボーバスは無くなる可能性が高い。
- ・区の助成等で何とか存続させて欲しい。

国際化に向けた取組について

- ・国際化に向けてどのような対応をしていくか考えなければいけない。例えば、現在、全国各所で民泊が行われており、都内でもそれで稼いでいる人がたくさんいる。仕組みを整備すれば、外国人観光客に向けてお台場を発信できる。
- ・オリンピックは、楽しみもあるが、

駐輪場について

- ・駅前駐輪場の場所がいまいでわかりづらい。
- ・歩道上に路上駐輪が多い。
- ・有明の住民が台場に自転車で来る。

観光への対応について

【観光客増加による住民への影響】

- ・観光客の動向によって住民の生活が左右されやすい。（交通や買い物など）
- ・土日や、イベント時には、ゆりかもめが大混雑しており、住民は使いづらい。
- ・商業施設の屋上がバーベキュー場になっているため、周辺のスーパーは、バーベキュー客用の商品を置いている。時間帯によっては、かなりレジが混雑することもある。
- ・【観光案内板の充実】
- ・有名な観光地なのに、案内板が少なく、観光客が道に迷っているのをよく見かける。

【観光バス（高速バス）ターミナルの整備】

- ・観光バスの居場所がなく、現状は、道路で乗降を行っている。観光バス用のターミナルが必要である。

【観光客のマナーが悪い】

- ・観光客が多く、「みなとタバコルール」が守られていない。
- ・土日は、観光客が押し寄せるので、無法地帯になっている。
- ・観光客が多い土日にマナー啓発活動をすれば、効果があるのではないかと。
- ・歩道が広いので、歩行者マナー、自転車マナーをしっかりとしてほしい。

建物の老朽化対策について

- ・お台場は、新しく出来たまちなので、インフラはしっかりしているが、いずれお台場も、建物の老朽化問題などがでてくる。そうすると、まちの魅力や価値が下がってしまう。

自然環境について

【海辺の利用環境】

- ・台場地区は、海があり、空が見えて、景観に開放感がある。
- ・地元の子供も海で遊べるように、泳げる海にしてほしい。
- ・一方で、泳げる海にすると観光客が増えてしまう。これ以上観光客に来てほしくないという気持ちもある。

【公園の利用環境、ルールづくり】

- ・花火を出来る場所がない。
- ・台場公園を、バーベキューなどもっと自由に遊べる公園にしてほしい。
- ・公園の利用ルールを作る必要がある。

子育て世代のための環境整備について

- ・ママ友同士で、子連れで集まれる場所がない。
- ・子どもをプレーパークのような場所でダイナミックに遊ばせたい。
- ・預かり保育の場がほとんど無い。

